新年度を迎えるにあたつて
（寸感１ツ２ツ）

行事も新年度、一息つく間もなくスカウトの道を歩きづめに歩いて来ました。そして又本年も歩み続けようとしています。新らしいスカウトを迎え、またそれぞれ上進し、健やかな歩をもつて、それぞれのご父兄とスカウトの合作の上に団は成長しております。まこと有難いことと存じます。

スカウトが健やかな道を歩み続け、そして成長し、その人生の歩む道を異にしても、いつしか年を重ね白髪を頭にする頃、再び相会する時、あゝあの時はと、手を取り合える暖い団、友情深い団に育つつて欲しいその 土壌が、いつしか培かわれていることに気付いた時、嬉びをしみじみ かみしめたことでございます。スカウト活動にあつては、色々の問題提起がございますが、それこそスカウト成長えの礎となるものでございます。本年も又、こうした姿勢を暖く見守つて、本年度の団活動のために何かとよろしくとお願い申しあげることでございます。

スカウトにあつては、私の隊長の頃とその時代背景を異にするとは言へ、その社会の中にあつて、生きているという現実の中で、自身色々の不安や矛盾に遇つています。又私達大人にあつても、この近代社会の中で同様であると言つても過言でないと存じます。さうした時代背景をふまえての教育指導ともなれば、自信など持てないものなのでしょう。 ＜人間が人間として真実に生きて行く道とは何なのだろうか＞＜どこで成りたつのか＞思えば本当に難かしいことなのでしょう。 もし、何かに依存して幸福になろうとか、よく生き様と欲する限り、本当に生きる ということを失つてしまうことになるのでしょう。

Ｂ－Ｐが Scouting を創めるにあたり、南阿のズールスの民族の中から人間生活の基本を見、スカウト訓育を組立てたことに思いをいたしますとき、その訓育の方法、又、そのプロセスにあつて、最初は禁止的なことや、義務付ける外からの規制から、自然に放つておいても、出来る人間性その主体的、実践的であつて、内容的に知識ではない＜智慧＞を身につけて行くことが出来るスカウトの姿がスカウト訓育の究極であろかと存じます。そのことは＜ちかい＞にも、最后のメッセジにも明らかなことでございます。

さうした願いを持つたスカウテイング、‥‥その方法をマスターしていただくためにリーダーに研修所入所が強く要望されます。その時、入所前と入所後の私自身に何が起きたか、又起きなかつたかこれが非常に大切なことなのですが、概念でとらえ、言葉でとらえる、そういう形である限り本当のスカウト活動にならないということがございます。さうした厳しさが外からではなく内面に強く要望されますのがスカウテイングなのです。従つて何が起るかとは‥‥‥＜変る＞ということなのでしょう。よくわかれば変る‥‥変れば動きがあるということ、こうした歩みがスカウトにあつても同じことなのです

さうした意味からではありませんが、一度原点から見てカビング、スカウトキャンプのあり方にまなこを開いて見定めて欲しいと思います。世俗的であり過ぎないだろうか問題提起をいたします。
団の歩みが休みなく続けられていること、スカウトと育成会の合作の広場＜団＞をより暖く、より堅実にお育て下さいました皆々様に深く感謝申しあげることでございます。

小　川　玄　諦

日本ボーイスカウト京都連盟

京都第38団育成会

年次総会―資料

1982

昭和57年10月16日（土）

於　長休寺本堂

年次総会次第および議案

開　会　式

1, 開式のことば
2, 国　旗　儀　礼
3, 讃歌　「衆　会」
4, 礼　　拝
5, 育成会長挨拶
6, 閉式のことば

会　　議

1, 団委員長挨拶
2, 議長・副議長の選出
3, 議長挨拶
4, 記録係の任命

議　　案

1, 昭和56年度各隊活動、団行事報告。
2, 昭和56年度収支決算報告。
3, 昭和56年度顧問、育成会長、会計監査の選出。名誉会員の推薦。
4, 昭和58年度団委員並びに役務分担承認。
5, 昭和58年度各隊指導者選任報告。
6. 昭和58年度活動計画について。
7, 昭和58年度収支予算について。
8, その他。

中川.

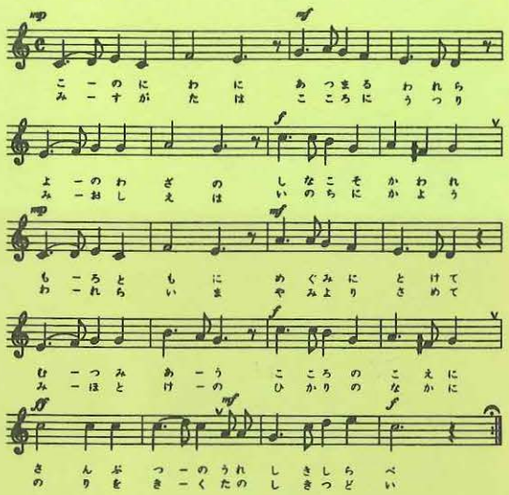
小川先生

閉　会　式

1, 開式のことば
2, 小川顧問の話し
3, 讃歌　「四弘誓願」
4, 礼　　拝
5, 国　旗　儀　礼
6, 閉式のことば

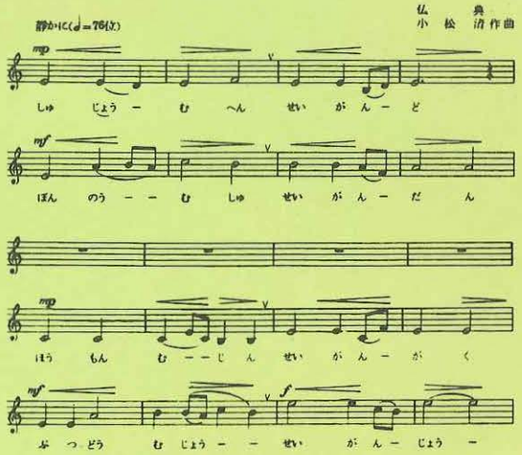
衆　会

羽田野　仁　作詞
平井康三郎　作曲



四弘誓願

仏　典
小　松　清　作曲



ごあいさつ

三指.秋も益々深まり.小川先生はじめ団育成会の皆々様には.常々38団スカウト活動に御協力を賜り.厚く感謝申し上げます。

皆様もよく御理解していただいています様に.スカウト活動は.子供達が健康な精神と肉体を養い.将来立派な良き社会人となる為に."三つのちかい"を柱として"八のおきて"のもとに活動しております。しかし乍らこれを支え.育てるには.リーダー諸氏の力も大切ですが.親の子を思う心と.それを良く理解することが何より大切な事であると.確信致します。

何かと御多忙とは存じますが.今後とも団育成の為なお一層の御支援.御協力をお願い致しまして御挨拶とさせていただきます。　　敬.拝

昭和57年9月　　団委員長　西村恭一

一年を振り返って……

昨年10月より カブ隊々長として 隊の運営をまかされ 各御父兄方々の 絶大なる 援助と協力を得えて 活動出来ましたことに 心より 御礼申し上げます。さてこの1年間！ カブスカウトたち又デンマザーをはじめ、各リーダー・スタッフ共々 楽しい カブ活動を過すことが出来ました。 特にスカウトたちは、それぞれの立場にたって 自分自身を自覚しがんばってくれたように思います。夏のキャンプ（笠置山）を頂点とした毎月のプログラム活動に対して（作品も含め）それぞれ各人の個性と努力を見ることが出来たように思う。この様にスカウトたちがそれぞれに成長してくれたことは、各家庭内における、カブ活動が活発でありまた 正しく理解されていたからにほかならないと思います。

ただその反面 組、隊集会において落ち着きのなさが目立った1年でもありました。 今年のデンマザーは1年間通していただきまた非常にガンバッテいただいたことに 改めて敬意を表します。

その反面 少年隊の進級の遅さから起因するデンチーフの派遣問題は、カブ隊・少年隊の共通テーマとして今後考えていかねばならないように思います。現状のグリンバーがデンチーフを兼任するということ自体、余りにも彼らにかかるウェイトが大きすぎるように思われるからです。

なにはともあれ 1年間、父兄リーダーに助けられ、また団各位様の絶大なる協力と指導を得て、次期の若いリーダー諸氏へバトンタッチ出来たことを感謝致します。

カブスカウト隊々長 榎本信也

昭和56年度

38団カブ隊行事報告書

隊集会 月日	隊集会 テーマ	本部会議	デンマザー会議	デンチーフ会議	活動・内容 備考
S56 10.18	走れ サンパチマラソンマン	10.28			ハイキング 百井へ
11.23	我らサンパチカブスカウト	11.24			大谷本山報恩講 仮入隊式（御所）
12.20	まわせ サンパチごま	12.12 23	12.11		入隊式（下鴨神社） 団行事（ハウス－長休）
S57 1.24	応答せよ サンパチ救助隊	1.8 .17 .29	1.15		雪中ハイク 奥豊船へ
2.21	北山大滑走	2.15	2.4	2.13	スキー 花背
3.27.28	サンパチ 少年探偵団	3.3 3.17.24	3.5	3.13	春の一泊隊集会（百井キャンプ場）
4.18	サンパチ ロードマン	4.10 14	4.7	4.24	宝ヶ池・サイクリング
5.23	サンパチ アイディアマン	5.1 .20	5.14	5.15	北山カブラリー 下鴨神社
6.20	作るゾ 我らのシンボルマーク	6.17 .25	6.4 6.27		トーテンポール作
7.18	サンパチ 名コック	7.5 7.13	7.28		飯合炊さん 静原へ
8.14~17	宇宙カブ 宇宙大遊泳	8.7	8.14 18	8.14	笠置山寺（京都府）
8.29	レッゴー サンパチ	8.26			ホリディーイン－KYOTO プールへ
9.19	築こう、我らのベースキャンプ	9.8			雨天にてハウス－長休（ハイキング・大文字山へ）

10.24	新入隊説明会（ハウスホール）	3.28~	緑化募金運動
11.14	長休寺スカウト報恩講	4.25	夏キャンプ地下見
.23	本山大谷スカウト報恩講	5.9	ハウス十周年（宝ヶ池へOL）
12.20	年ノ瀬大集合・入隊式	.26	夏キャンプ地下見
.30	早起き隊集会	6.5	〃 説明会・テーマ委員会
		.20	月ノ輪結成式
1.1	新年の集い	8.11	夏キャンプ準備
2.6	保護者会親睦会	26	〃 反省会
.12	合同テーマ委員会	22.23	月ノ輪一泊キャンプ（比エイ平）
3.12	春一泊説明会		テーマ委員会は各月ごとに各組担当
26	春一泊準備会		1組、1.5月 2組 2.6月 3組 4.7月

一年を振り返って

昨年に引続き隊長をお引受けし今年はベテランの服部さんが副長として参画していただきましたので未熟ではありますが一年間の経験を生かし今年こそはと張り切ってスタートしました。まずグリーンバー訓練の強化と進級への意欲づけを重点的に行い班活動においてはその自主性を尊重し昨年よりはまとまった活動ができたのではないかと思っています。班長は全員菊スカウトに進級し班長としての自覚も持つようになり、1泊のグリーンバー訓練、一部の班での班キャンプ等の実施によりスカウト全員の意欲も少しは高まったと思います。これらのことが6月に行われた北山地区BSラリーでの優勝・2位・7位という好成績になってあらわれたと思います。しかし反面退団者を出したこと、班集会の実態の一部不掌握等、年度の終り近くになって団はじめ一部ご父兄の皆様方にご迷惑をおかけしたことは全く私の指導力の不足と反省しています。夏期キャンプにおいても悪天候が続いたとはいえ中途撤営に踏み切ったことについてこの方策が適切であったかどうか、又このキャンプの計画段階から実施面についても今後の反省材料にしています。

昨年度の反省事項も改善出来なかったことも多く、又本年度もやるべき多くのことを残して次にバトンタッチすることは私にとっては少し心残りですが幸い二年間副長として私を助けていただいた若い有能な西村副長が新隊長として引継いでいただきますので大変よろこんでいます。今後役務は変っても側面から協力をしていく所存です。最後になりましたが小川先生はじめ団役員の皆様に感謝申し上げます。

山川 譲

BS隊 活動報告

年間プログラム

月	テーマ	隊集会	その他行事
10	基本（班旗のもとへ）	25. 長休寺	17. 育成会総会 30. 父兄会
11	結索（さあ結ぼう）	29. 宝ケ池周辺	14. 報恩講 23. 大谷スカウト報恩講
12	救急（仲間が危ない）	27. 出雲路橋周辺	20. ちかいの式 〃 団行事
1	読図（目的地めざして）	31. 大文字山	1. 新年のつどい
2	ハイク（雪をさがせ）	28. 百井キャンプ場	
3	通信（暗号をとけ）	22. 氷室	
4	体力づくり（きたえれば全身バネになる）	25. 加茂川中学校	17～18 グリーンバー1泊訓練
5	野外料理（おふくろの味）	30. ハウス長休（雨のため）	9. ハウス10周年
6	観察 言十測（ぼくの歩幅は）	27. 静原	6. 北山地区BSラリー
7	健康安全	18. 備品整理 22～25 信楽（キャンプ）	10. 鴨川清掃 15. 父兄会 28. 反省会
8	キャンプ（サンパチジャンボリー）	日本ジャンボリーのため7月中旬に実施する	2～7 日本ジャンボリー
9	反省（この一年…）	12. 北山ハワイプール	

スカウト

班	班長	次長						
ワシ	袖岡（2→1→菊）	橘兄（初）	原田（初）	西脇（初）	下坂（初）	西田（初）	宮谷（初）	木野（初）
ヤギュウ	南（2→1→菊）	松永（初→2）	永田（初→2）	石田（初）	隅田（初）	橘弟（初）	三条場（初）	田中（初）
コイ	多門（2→1→菊）	高橋（初→2）	桂（初）	山内（初→2）	西山（初）	南部（初）	小野（初）	宮本（初）

リーダー

隊付 小林 福永　上級班長 松本龍

副長補 五十嵐 大藪　副長 中西 西村 服部　隊長 山川

昭和56年度　シニアスカウト隊 活動報告

年間 大テーマ　"The great pioneer of nature" 自然の大いなる開拓者

サブテーマ　ascertain（確かめる）

10/8 隊集会にて決定

〈年間活動〉

9/14　次年度 班長（山川, 黒宮, 小島）打ち合わせ
10/8　隊集会(S.S.T.M)　テーマ. 年間計画　の話し合い
10/29　班長会議（P.L.M）　入隊式について
10/31～11/1　新入隊員 入隊式
　小出石 ～ 百井キャンプ場 にて
11/14　団 報恩講
　山川. 黒宮. 小島　仏教章 授与
11/23　大S 報恩講　山川. 黒宮 導師として参加
11/21　地区 ブラックスピアー隊 発隊式
　入隊 スカウト　松本り, 松本み, 井上, 服部
12/12　S. S. T. M.　年忘れ レセプションについて
12/20　団　年忘れ レセプション に 模擬店出店
　（スコーピオン ・・・ ホットドッグ
　　レパード ・・・ アメリカンドッグ
　　キャンサー ・・・ コンソメ スープ）

昭和57年

1/6　新年会 及 激励会　長休寺にて　水だき パーティー
2/27　S. S. T. M　サンパチシニア 20周年について
↕ 班毎で準備
4/10　P. L. M　〃
4/13.　S. S. T. M.　〃　→ 詳細決定
5/2　S. S. T. M.　20周年記念 OL 大会　打ち合わせ
5/10　S. S. T. M.　〃　〃
5/15　〃　準備
5/16　シニア 20周年 OL 大会　室ヶ池付近 にて
　参加隊　S.S. 34, 56. 73
　　G.S. 26 レンジャー
6/19　S. S. T. M　遠征 計画
6/27　地区炊事草講習会　参加者　松本り. 松本み. 服部
7/2　S. S. T. M　遠征 計画
7/29　〃　〃　班コース. 計画書 最終決定
8/9　〃　〃　最終打合せ

7/31～8/8　第8回 日本ジャンボリー　S.S京都第2隊 として参加　参加者
　松本り 松本み 服部

8/10～8/15　遠征　能登半島 方面
8/27　遠征 反省・報告会
9/18　打ち上げ　水だき パーティー　ハウス長休 にて

大谷スカウト名誉奉仕訓練（3/26～30）　参加者. 松本り, 井上. 小林

〈進級. 授章関係〉

隼章 取得
3/24　山岡 隆久 君
6/27　松本 道典 君
7/21　松本 龍太郎 君
9/25　松本り君. 井上君 小林君

宗教（仏）章取得

技能章
野営 ・・・ 松本り
消防 ・・・ 松本り, 服部, 松本み
安全 ・・・ 松本り, 山岡, 松本み
案内 ・・・ 山岡, 松本み, 松本り
炊事 ・・・ 服部, 松本り, 松本み
救急 ・・・ 松本み. 井上, 福永. 竹村, 松本り, 服部
電気 ・・・ 松本み, 井上. 松本り. 服部
天文 ・・・ 松本み
剣道 ・・・ 松本り

〈一年間の活動をふりかえって〉

今年の活動の主な方針として リーダー側の提示を極力さけ スカウトのニーズの上に立った自主的活動の場を できるだけ設定するように考えた当然のことながら前面に立つのは スカウト自身であるのだから 少々こわさはあったが踏みきることにした（ようするに スカウト自身にやる気が全くなかったら 活動自体ストップしてしまうことになる）立案・計画を 班長にまかせ団・隊の諸活動の責任をもたせた. それはいい結果につながったと思うというのは その中に必らず班の集会があり 班内のコミュニケーションが計られていったからだ. そしてそれは班集会の出席率のよさにつながった（一年目のスカウトの出席状況には問題をのこすが・・・・）遠征では全くこれが功を奏した. 班長の責任は少し負担が大きかったかもしれないが自信につながり いい結果を生んだと思われる. 又 そんな中で 上記のように進級が去年度からみて 飛躍的に取得することができたそのことは各人の意欲（少し取る者がかたよっていることは問題だが）が上がっている証拠だし 必ず後輩に対して 奮気をうながす絶好の材料にちがいない 又 現在 サンパチ初の富士スカウトをめざしている者がおり 隊の士気にとても大切にかかわっている是非目標に達してもらいたい. とにかく スカウティングに対しての気運の高まってきている現状を維持するとともに今後の課題として 組織的にがっちりかためたい（委員会等）のと 困難に挑戦（克服していく力・喜びを味わわせることが大切だと思う 又. ボーイ. カブへの奉仕については それぞれの立場でしっかりとやってくれたことに感謝をしたい

シニアスカウト隊々長　本多 直樹

櫓 RS38 ROVER INFORMATION

昭和56年度　年間報告

ASIOF 1982/9/25

活動報告　　△…定例隊集会

日程	9/26	10/8	11/8	12/13	12/19	12/20	1/1	1/10	2/14	3/14	4/11	5/9	6/13	7/11	8/8	8/25	11/23
活動足跡 ＼ メンバー	上進式	新入一泊歓迎	△	△	特別隊集会	団行事	新年の集い	△	△	△	△	△	△	△	△	一泊隊集会	同大RS20周
大藪俊 隊長	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
鶴田 副長	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○					○	○
大藪完	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○					
中西	○	○	○	○				○		○	○			○	○	○	
松原	○	○	○	○	○	○			○		○	○			○	○	○
山川 勝	○	○	○	○		○	○		○	○	○	○	○		○		
西村	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
五十嵐	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	
山岡	○	○	○	○		○			○	○							
河原	○	○	○	○	○			○		○		○				○	○
吹田	○	○				○					○	○			○	○	

本年度は　前半（S56/9～S57/3）チーフ　大藪完，後半（S57/4～S57/9）チーフ　山川勝　の2人により，また鶴田副隊長の登場もあり，非常に活発な，出席率の高い年でありました。しかし今年は他のRS隊との交流も含め，外に出る活動が当初予定したとうり出来なかったことが残念です。

月一回の隊集会の話し合いの場も，各スカウトが各々リーダーとして活動していることもあり，各リーダの立場を超えて悩みなどを積極的に話し合える場であったが気がかりでうまくなく「きれいごと」で話をすましているきらいがあるように感じました。

いずれにしても，全員がうるおいの形でローバリングを続けていることに，各々が満足しているように感じています。ご希望の方は「櫓」S56年活動報告書（全77ページ）をごらん下さい

RS38 隊長　大藪俊一

・新チーフ 五十嵐

・新隊員入試

昭和56年度　団委員会開催記録　S56，10，6，～S57，9，14，

第1回団委員会　昭和56年10月6日(火)　新旧合同　於ハウスホール

第2回団委員会　昭和56年11月10日(火)　定例　於ハウスホール。

出席者－西村，河原，橘，多門，西脇，宮本，田井中，下坂，松本(敬)，五十嵐，黒宮，小島，山川　南部，石田，高橋，末吉，山内。（18名）　出席率75%

欠席者－＊届出有－松永，届出無－中川，永田，原田，松本(昇)。

第3回団委員会　昭和56年12月8日(火)　定例　於ハウス長休ホール　19:50～22:10

出席者－西村，河原，下坂，原田，小島，黒宮，西脇，永田，山川，高橋，宮本，五十嵐，中川　南部，小川，松永，山内。（17名）　出席率708%

欠席者－届出有－多門，末吉，橘，田井中，松本（昇）。届出無－松本（敬），石田。

第4回団委員会　昭和57年2月9日(火)　定例　於ハウス長休ホール　19:40～22:00

出席者－西村，中川，下坂，松永，橘，田井中，高橋，山川，黒宮，五十嵐，末吉，小川，山内。（13名）54.2%

欠席者－届出有－西脇，多門，小島，宮本，南部。

届出無－河原，永田，原田，石田，松本（敬），松本（昇）。

第5回団委員会　昭和57年3月8日（月）　定例　於ハウス長休ホール　19：50～21：30

出席者…西村，中川，河原，黒宮，山川，五十嵐，南部，西脇，高橋，田井中，永田，下坂，小川，末吉，山内（15名）63%

第6回団委員会　昭和57年4月13日（火）　定例　於ハウス長休ホール　19：40～21：30

出席者…西村，中川，河原，山川，宮本，南部，松本(敬)，西脇，多門，田井中，石田，下坂，五十嵐，高橋，永田，小川，末吉，山内（18名）75%

欠席者…届出有…松永，黒宮，橘　　届出無…松本昇，小島，原田

第7回団委員会　昭和57年5月11日（火）　定例　於ハウス長休ホール　19：40～21：30

出席者…西村，河原，黒宮，橘，山川，高橋，田井中，西脇，宮本，多門，五十嵐，下坂，永田，南部，小川，山内，（16名）67%

欠席者…届出有…末吉，　　届出無…中川，小島，原田，松永，石田，松本（敬），松本（昇）

第8回団委員会　昭和57年6月8日（火）　定例　於ハウス長休ホール　19：40～22：00

出席者…西村，中川，末吉，宮本，河原，西脇，松本（敬），山川，五十嵐，下坂，高橋，南部，原田，小川，山内（15名）63%

第9回団委員会　昭和57年7月13日(火)　定例　於ハウス長休ホール　19：45～22：10

出席者＝西村，河原，五十嵐，山川，西脇，原田，田井中，高橋，石田，下坂，永田，末吉，中川　橘，小川，山内，（16名）　67%

第10回団委員会　昭和57年8月30日(月)　定例　於　神田　18：45～19：00

出席者＝西村，河原，中川，高橋，田井中，松永，南部，黒宮，五十嵐，西脇，山川，下坂，永田　松本（敬），小川，末吉，山内　（17名）　71%

第11回団委員会（新旧合同）　昭和57年9月14日(火)　於ハウス長休ホール　19：10～22：30

出席者＝西村，中川，多門，橘，黒宮，原田，西脇，高橋，宮本，下坂，小川，末吉，山内，宮谷　小林，福永，隅田，西田，桂，南部，以上20名内旧委員13名出席（54%）

欠席者＝松本（敬），石田，山川（連絡有）

カブ隊保護者会報告

カブ隊野行という大役を引き受け、不安一杯のこの一年間でしたが皆様の御協力を得て無事に役務を果たせた事を感謝致しております。保護者会としては、隊リーダーの要請にもとずく行事プログラムの進行、運営のために積極的に参加をし、協力と奉仕で隊の活動や運営がスムーズに進行するよう援助しました。

又、カブ隊保護者も互いに助け合い楽しい集いの場にもなり、その結果、隊の活動に対しても十分な協力と奉仕をする事が出来ました。

活動記録

10/18	隊集会	ハイキング	輸送	百井方面
10/24	新入隊説明会			
11/14	報恩講			
11/23	大谷スカウト報恩講			東本願寺
〃	カブ隊仮入隊式			御所
12/5	カブ保護者会			
12/20	カブ隊入隊式			下鴨神社
〃	団行事参加	レセプション		
12/30	早起き隊集会	カップヌードル炊き出し		
1/1	新年の集い			
1/24	隊集会	雪中ハイク	炊き出し	奥貴船

2/6	保護者会親睦会			畑 角
2/12	合同テーマ委員会			
2/21	隊集会	スキー	炊き出し	花 背
3/12	一泊舎営説明会			
3/27～28	隊集会	一泊舎営	炊き出し	百井青少年村
4/18	隊集会	サイクリング		宝ケ池方面
5/9	ハウス10周年	オリエンテリング	輸送	宝ケ池方面
5/23	カブラリー	北山地区		下鴨神社
6/5	夏舎営説明会			
〃	合同テーマ委員会			
6/20	隊集会	トーテム・ポール制作		
7/18	隊集会	飯合炊さん		静 原
8/14～17	夏舎営	炊き出し		笠 置
8/26	舎営保護者反省会			
8/29	お別れ隊集会			

以上

野行担当 田井中正信

56年度シニア隊育成会　担当　黒宮

○ 56年12月20日(日)餅つき会

シニア父兄は餅つき会に串カツの店を出し約400本の串カツに味も良しと大好評で、父兄とスカウトとの懇親の場として有意義な一日でした。

○ 57年8月8日(日) シニア隊夏期遠征説明会

本多隊長より8月10日～14日の能登半島移動キャンプについての説明を聞かせていただく。

父兄9名の出席、欠席者が多いので出来るだけ出席される事を望みます。

指導者養成　　担当　末吉央伯

●研修報告、「ウッドバッジ研修所BS課程京都第8期修了　中西浩氏　S57.5.2～5 野外活動総合センター

●団会議（団内隊長・副長会議 ― 当団では副長補も参席できる）の活用をさらに求む。―― 団委員会は、各隊，スカウトへの援助について、団会議からそのニーズを得るところが大きい。団会議以外では、注文・要望は受け付けないというのではないが、公式会議であることを認識していただいて、また、活動の最終責任は、団委員会にあるためにも、計画や、報告をお伝えいただいて、要望等の情報をお知らせ下さるようお願いしたい。そして隊長かその代理が出席すれば良いという考えでなく、すべてのリーダーの参加による団会議でこそ、報告会に終らない意味あるものを目指してほしい。各隊リーダー会議の問題点も再現されると解決の一助となろう。

●自己研修のすすめ。――スカウティングは経験や慣習だけではダメである。自己研修を重ねて、独善的解釈をしないことが望まれる。疑問や不満を外に出さず一部で話されると、信頼関係をそこなう結果を生じる。自己満足の為に行動するか、スカウティングを目指して行動するかでは、内容が全く違ってくる。基本を大切にしたい。

健安56年度活動報告

12月19日　スカウト傷害保険加入契約
38団全員の血液型調査

5月12日　健安北山地区委員会出席
於、71団ハウス招善

7月12日　〃　〃

5月23日(日)　カブラリー　於、下鴨神社
移動トイレの設置
救急箱の用意
医師の手配

9月17日　日赤救急法講習会開催(8日間)
於、宥清寺

9月17日(金)　20日(月)　22日(水)
24日(金)　27日(月)　29日(水)
10月1日(金)　10月4日(月)

シニア隊　西村文孝、園田一之　出席

38団お手伝当番　9月20日　10月1日
山川、西脇　出席

以上

健安委員　山川孝子
〃　西脇香代子

55年度進歩担当報告　56/9～57/8

日赤急救法受講者

竹村次郎、井上孝、松本龍太郎、福永幹也、

服部憲一、松本道典、

12/1　シニアへ昇進

服部憲一、

12/31　一級進級面接会

南康戌、多門弘之、袖岡淳、

二級進級面接会

松永誠史、高橋宏樹、

2/13　地区進歩委員会、

5/14　二級進級面接会

永田幸司、

5/19　菊章地区面接会、

南康弘、多門弘之、袖岡淳、

6/12　二級進級面接会、

山内徹也

8/8　シニアへ昇進（シニアスカウト章取得）

西脇一博、西村文孝、三田泰弘、園田一之

隼章 修得

3/24、山岡隆久
6/27、松本道典
7/21　松本龍太郎

仏教章授与

- 小島庸次郎
- 黒宮秀行
- 山川裕之

技能章 修得者

炊事章	服部憲一、松本道典、松本龍太郎、
野営章	松本龍太郎、
安全章	松本龍太郎、松本道典、山岡隆久、
剣道章	松本龍太郎、
天文章	松本道典、
案内章	松本道典、松本龍太郎、山岡隆久、
電気章	服部憲一、松本龍太郎、井上孝、松本道典、
消防章	松本道典、松本龍太郎、服部憲一、

組織拡張担当報告

下坂紀一

1. カブスカウト隊員の入隊説明会

昭56.10.24　於 ハウス長林 PM7.30

入隊希望者　9名　希望者及び両親参集

2. 昭和57年度 日本連盟登録申請

昭57.2.21(日) AM9.00～12.00　於 宥清寺

	指導者 名	隊員 名	計 名
団委員	19		19
カブ隊	8	23	31
ボーイ隊	2	24	26
シニア隊	4	15	19
ローバー隊	5	8	13
			108 名

（役務又は所属等重複するものは主たる役務所属にて登録す）

3. 課題

C.S.隊への入隊希望者が最近多くなってきている。これらに対処するため、CS BS 各隊の組及び班を増やなければならない時期にきているものと思う。これには、かなりの備品費とリーダー（デンマザ含）を増員、キャンプ場の適地選定等諸問題があるが、団委員、成会リーダー等の御理解を得て、適でな組及び班の編制としなければならない。

以上

賦政担当　　高橋

皆様方のご援助ご協力のおかげをもちまして無事賦政役務を果たせました事を厚くお礼申し上げます。
尚、諸費用納入の振込用紙を配布することが出来ずに皆様方に迷惑ご不便をおかけいたしましたことを深くお詫び申し上げます。

育成会費及び年間行事費納入について

〔納入方法〕原則として郵便振替口座に入金する
〔加入者名〕日本ボーイスカウト京都連盟第38団
〔口座番号〕京都7　34910
〔納入期日〕毎月5日迄（数ヵ月分一括納入もす）
〔納入金額〕（振込手数料は各自負担です）

	カブスカウト	ボーイスカウト	シニアスカウト
育成会費1ヵ月分	1,500	1,500	1,500
年間行事費〃	2,000	2,000	1,500
合計〃	3,500	3,500	3,000

尚、同一保護者で2名以上のスカウトが在籍する場合は、2人目以上は育成会費を500円控除した額を納めてください。
ローバースカウトの保護者は維持会費1口額1000円を納めてください。

育成会賛助会員氏名報告

今年も年間プログラムを無事に終了され、又第8回日本ジャンボリーにも参加することが出来ました。ひとえに皆様のお蔭と感謝しています。
又本年も当育成会に賛助会員として入会された方々を報告させて頂きます。

初鹿商店殿　大吉商店殿　山宗商店殿
高畑商店殿　田市商店殿　足長谷川商店殿
木村商店殿　田村商店殿　北村商店殿
小野邦夫殿　小椋久生殿　石田　殿
堀　啓一殿　松本国康殿　牧本新市殿
川上兼夫殿　森本洋司殿　堀　政江殿
林　恒一殿　船戸重雄殿　船戸正広殿
大川久夫殿　大川昌男殿　伊藤幸夫殿

以上24名　44.5口

新年度もよろしくお願い致します。

育成会長　中川恵造

收支決算報告

自 1981年9月1日
至 1982年8月31日（単位：円）

支出				収入			
科目	予算	決算	差額	科目	予算	決算	差額
登録費	250,000	202,600	47,400	入団費	16,000	18,000	2,000
保険料	50,000	31,298	18,702	育成会費	1,062,000	1,013,500	48,500
ハウス管理費	160,000	162,600	△ 2,600	年間行事費	1,248,000	1,376,000	△ 128,000
団行事費	180,000	290,585	△ 110,585	カブ	504,000	552,000	△ 48,000
備品費	150,000	46,925	103,075	ボーイ	528,000	572,000	△ 44,000
研修補助費	100,000	9,550	90,450	シニア	216,000	252,000	△ 36,000
隊活動費補助	(1,438,000)	(1,410,634)	(27,366)	賛助会費	-	83,000	△ 83,000
カブ	510,000	513,269	△ 3,269	維持会費	-	119,000	△ 119,000
ボーイ	660,000	640,895	19,105	利息・配当金	-	24,141	△ 24,141
シニアー	268,000	256,470	11,530	雑収入	-	69,000	△ 69,000
慶弔費	50,000	3,000	47,000				
事務費	80,000	80,820	△ 820				
備品購入引当繰入れ	0	200,000	△ 200,000				
予備費	9,168	0	9,168				
次年度繰越金	-	405,797	△ 405,797	前年度繰越金	141,168	141,168	0
合計	2,467,168	2,843,809	△ 376,641	合計	2,467,168	2,843,809	△ 376,641

貸借対照表

1982年8月31日（単位：円）

科目	金額	科目	金額
現金	187,522	行事積金	350,000
積〃金	506,625	備品購入引当金	200,000
振替口座	265,150	積〃金	3,500
		次年度繰越金	405,797
合計	959,297	合計	959,297

上記の通り相異ないことを報告致します。

昭和57年9月2日

団会計　橋愛治

昭和56年度の会計を監査した結果適正に処理されていることを認めます。

昭和57年　月　日

監査人　園田隆三

〃　西山豊太郎

昭和58年度　団役務分担一覧表　10.16.現在

(顧　　問)小川玄諦（名誉会員）　（　　）は総会当日選出する役務であるが、ここでは団委員会での推薦者として載せた。

(育成会長)中川恵造

団委員長　西村泰一　　（会計監査）園田隆三

副団委員長　河原幸一，下坂紀一　　〃　西山豊太郎

団会計　高橋美知代

団委員　黒宮富子

〃　福永由紀子 R5.

〃　桂年子

〃　宮谷洋子

〃　田井中正信

〃　原田保夫

〃　和田喜与太

〃　青山 [illegible]

〃　小林光子

〃　竹村満子

〃　宮本明

〃　隅田泰江

〃　西田久江

〃　西脇香代子

〃　下坂紀一

〃　山内哲雄

〃　山川孝子

〃　五十嵐美紀子

〃　末吉央伯

○── 財政担当委員 ──
(1) 団の資産を管理。
(2) 団・各隊の年間計画に基づく、年間収支予算の作成および決算報告。
(3) 育成会に対し財政的協力を求める。

○── 野営・行事担当委員（野・行）──
(1) 団の各行事プログラムの立案、および資材調達。
(2) 各隊のキャンピング適地を選定し実地踏査を行う。
(3) 各隊活動で必要な場合、育成会の協力を求める。
(4) 備品リストを管理し、各隊管理団備品をチェックする。

○── 進歩担当委員 ──
(1) スカウトの進歩章獲得について激励を行い認証を与える業務。
(2) 技能章の考査について便宜をはかる。
(3) ちかい、上進、進級の各式典が行われるよう協力する。

○── 健康・安全担当委員（健・安）──
(1) 集会場の管理。事故防止。キャンプ場実地踏査に参加協力。
(2) スカウト保険加入・継続手続等、スカウト保険担当。
(3) 日赤救急法講習会の案内・手続。

○── 組織・拡張担当委員（組・拡）──
(1) 新入隊募集の窓口。入隊申込案内、入隊説明会開催準備。
(2) 日本連盟年次登録業務を行う。休隊・退団の窓口。
(3) 団委員会の会合の設営、出欠管理。会議の記録。団報の製作発行。

○── 指導者養成担当委員（指養）──
(1) 各隊指導者の選任について打診等事前調整。
(2) 各種研修、講習会、研修所、実修所等の受講、入所を援助奨励。
(3) 後継者の発掘。(4) 苦情受付窓口。

各隊指導者

カブスカウト隊	ボーイスカウト隊	シニアスカウト隊	ローバースカウト隊
隊長 山川勝也	隊長 西村浩行	隊長 本多直樹	隊長 大藪俊一
副長 榎本信也	副長 中西浩	副長 河原昌史	副長 鶴田茂一
副長 石原幸一良	副長 入矢徹雄	〃 山川譲	副長 中村三之助
副長 福永裕子	副長補 吹田元路	〃 南部忠之	〃 服部圭佐
副長補 井上久美			

昭和57年育成会収支予算（案）

自1982年9月1日
至1983年8月31日
（単位：円）

収入

科目	予算	前年度予算	差額
人団費	16,000	16,000	0
育成会費	1,084,000	1,062,000	△ 23,000
年間行事費	1,380,000	1,248,000	(△132,000)
カブ	52,000	104,000	△ 48,000
ボーイ	176,000	128,000	△ 48,000
シニア	242,000	216,000	△ 36,000
前年度繰越金	401,000	141,168	△ 263,832
合計	2,886,000	2,467,168	△ 418,832

支出

科目	予算	前年度予算	差額
登録費	300,000	320,000	△ 20,000
保険料	70,000	70,000	0
ハウス管理費	200,000	160,000	△ 40,000
団行事費	200,000	180,000	△ 20,000
備品費	170,000	170,000	0
研修費	100,000	100,000	0
隊活動補助費	200,000	190,000	△ 10,000
	(1,380,000)	(1,248,000)	(△132,000)
カブ	52,000	104,000	△ 48,000
ボーイ	176,000	128,000	△ 48,000
シニア	242,000	216,000	△ 36,000
慶弔費	70,000	70,000	0
会議費	70,000	0	△ 70,000
事務費	94,000	80,000	△ 14,000
予備費	111,000	9,168	△ 101,832
ローバー活動補助費	30,000		
合計	2,886,000	2,467,168	△ 418,832